

大阪府における 肝炎・肝がん対策について



令和3年5月21日
第26回 肝炎対策推進協議会

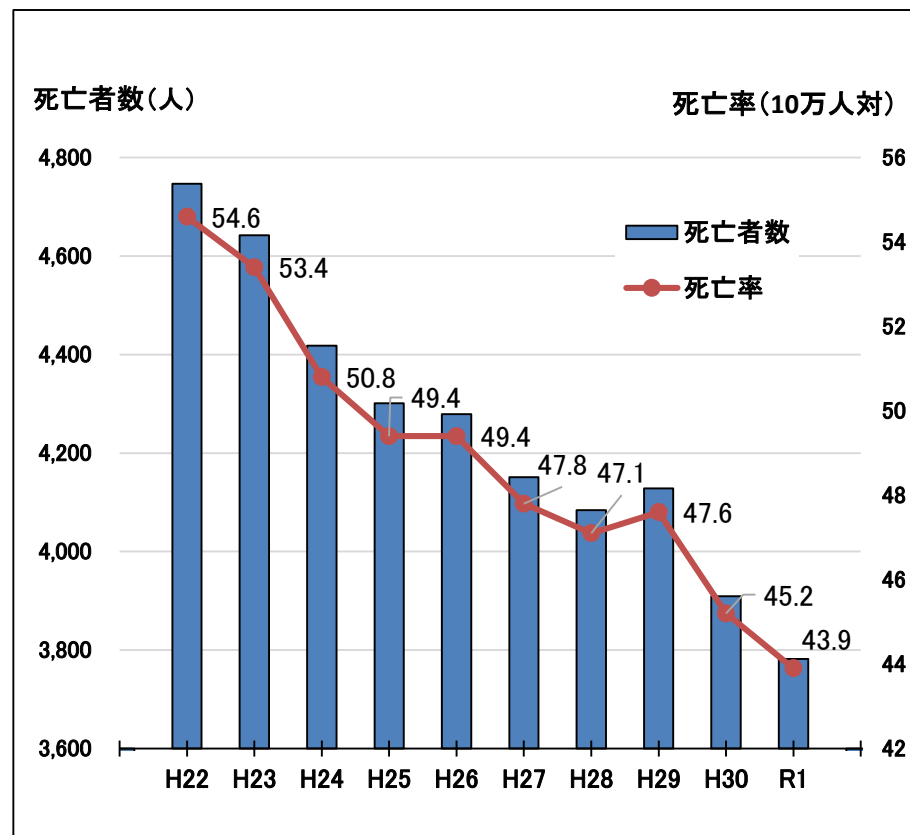
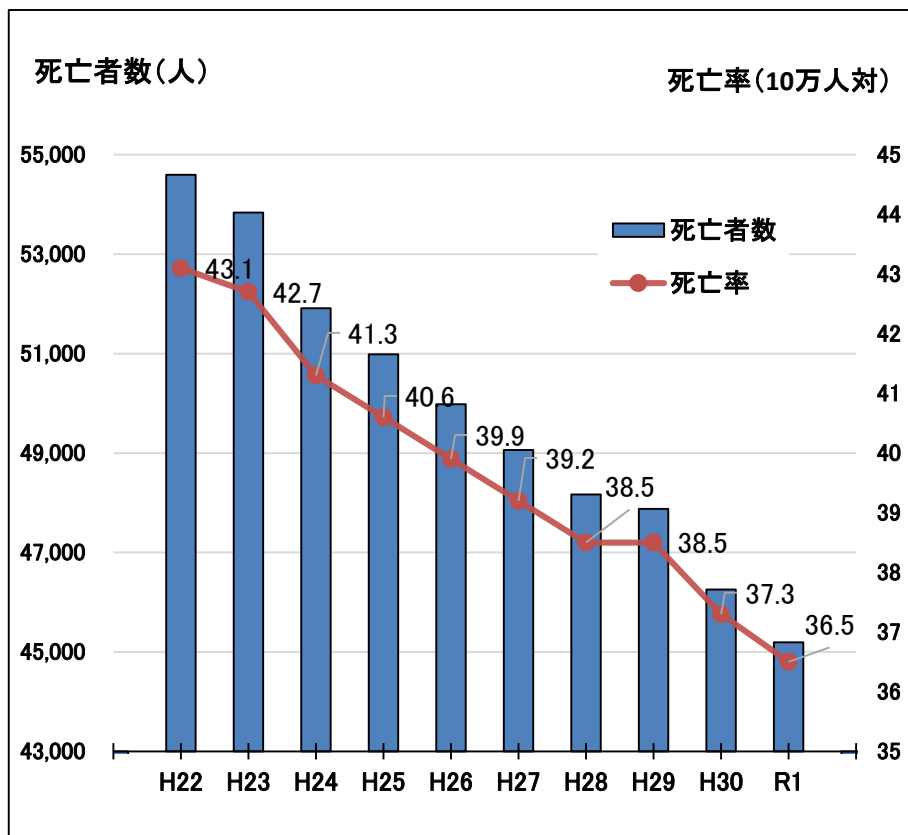
大阪府 健康医療部 健康推進室 健康づくり課
総括主査 黒岡 秀徳

大阪府の肝疾患による死亡数等の状況



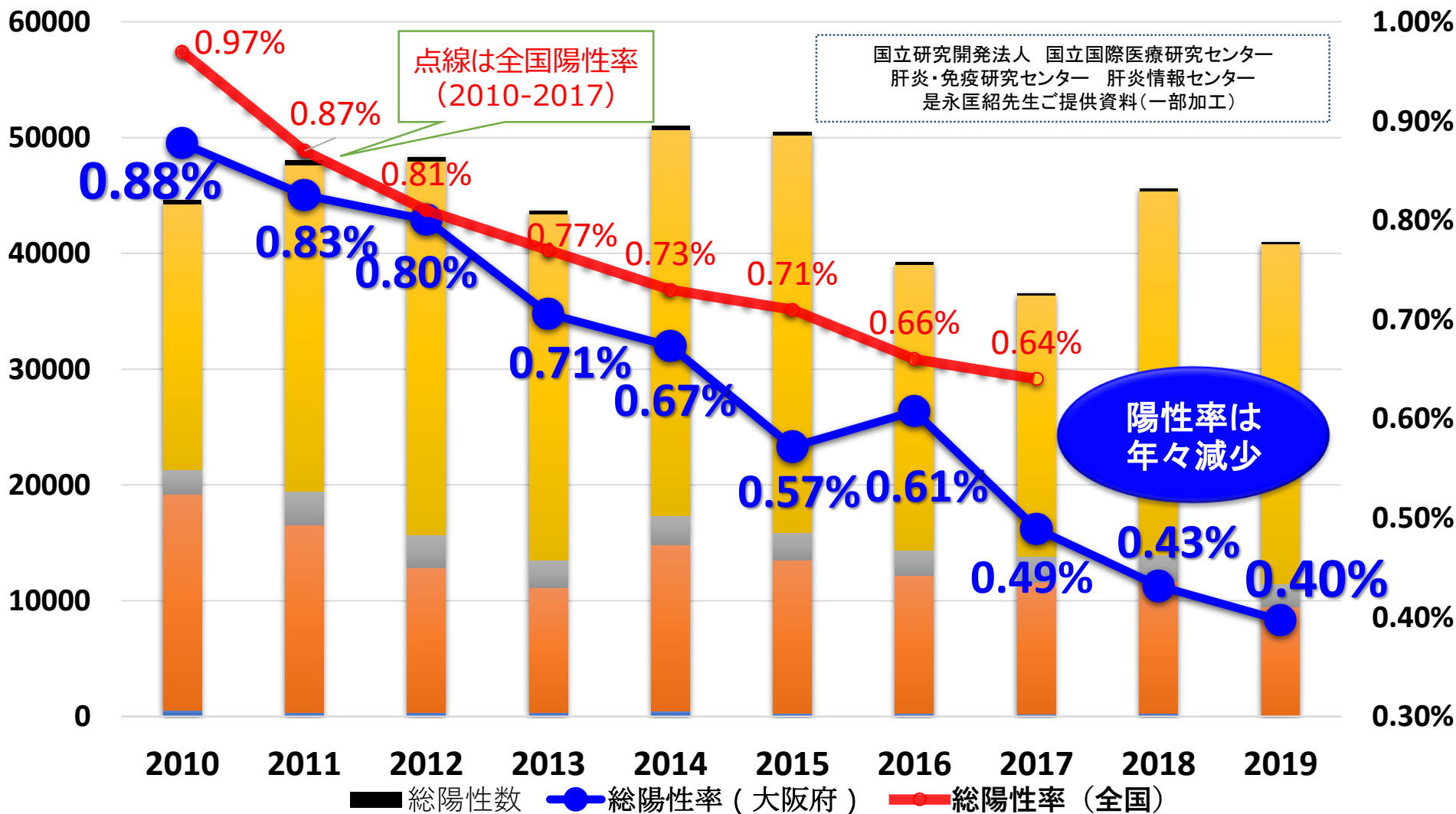
全国

大阪府



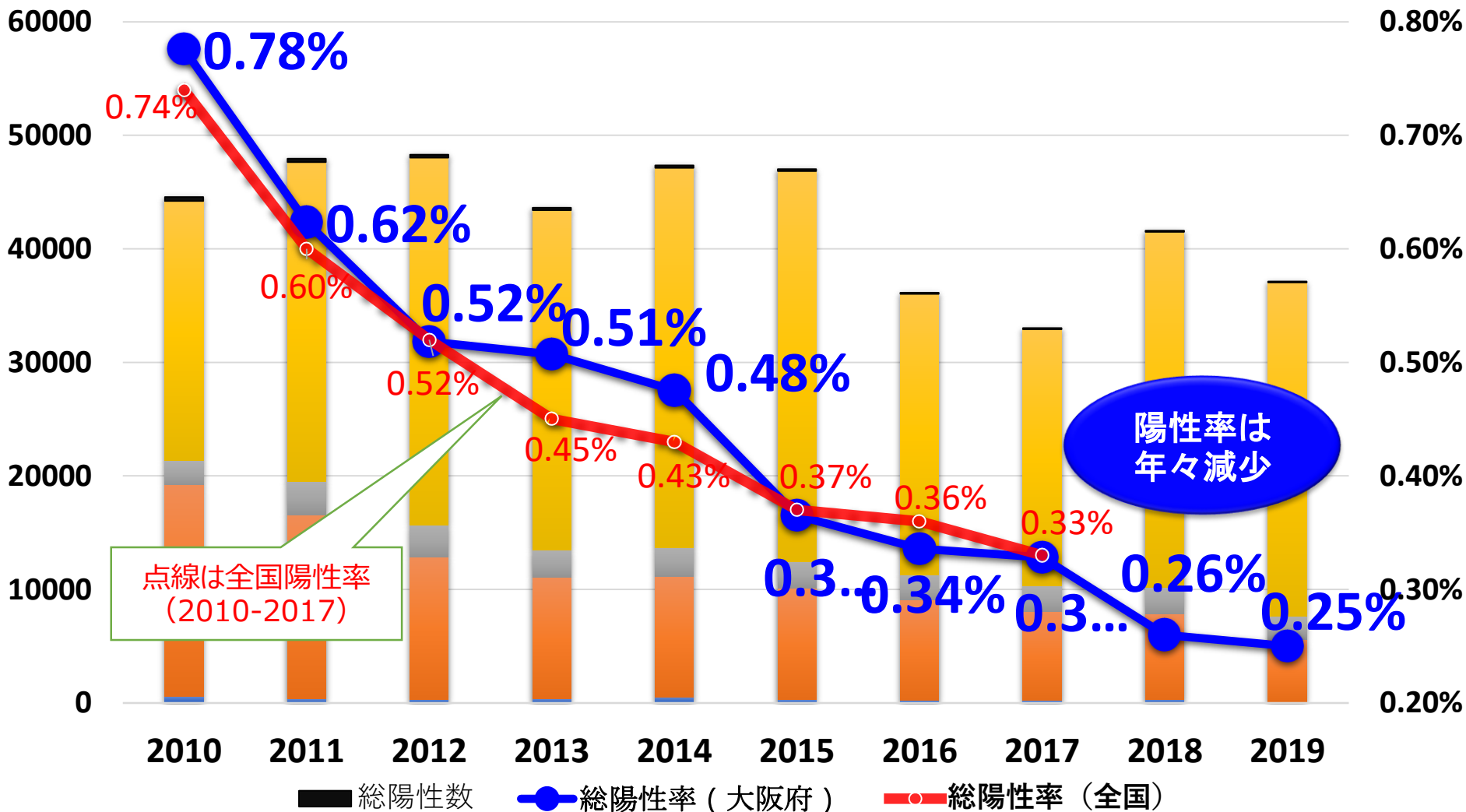
大阪府の肝炎ウイルス検査数年次推移(HBV)の状況

<特定感染症検査等事業 及び 健康増進事業> ※政令市2市除く



大阪府の肝炎ウイルス検査数年次推移(HCV)の状況

＜特定感染症検査等事業 及び 健康増進事業＞ ※政令市2市除く



第3期大阪府がん対策推進計画の概要(全体像)

- ◆ 計画期間：H30(2018)年4月～R6(2023)年3月までの6年間
- ◆ 中間評価・見直し：中間年のR2(2020)年度に実施予定
新型コロナウイルス感染症対策に重点的に取り組むため、R3(2021)年度に実施

個別取組体系(基本的な取組み)

【目標】(モニタリング指標)

1 がんの予防・早期発見

(1) がんの1次予防

(2) がん検診によるがんの早期発見(2次予防)

- 成人の喫煙率の減少
- 官公庁、学校など全面禁煙の割合の向上
- 受動喫煙の機会を有する者の割合の減少

- がん検診受診率の向上
- 精密検査受診率の向上

(3) 肝炎肝がん対策の推進

- 肝炎ウイルス検査累積受診者数の増加
- 肝炎ウイルス精検受診率の向上

2 がん医療の充実

- (1) 医療提供体制の充実 (2) 小児・AYA世代のがん・高齢者のがん・希少がん等の対策
(3) 新たな治療法の活用 (4) がん登録の推進 (5) 緩和ケアの推進

3 患者支援の充実

- (1) がん患者の相談支援 (2) がん患者への情報提供 (3) 就労支援等のがんサバイバーシップ支援

4 がん対策を社会全体で進める環境づくり

- (1) 社会全体での機運づくり (2) 大阪府がん対策基金 (3) がん患者会等との連携促進



第3期大阪府がん対策推進計画(個別目標)

(3) 肝炎肝がん対策の推進

	個別目標	計画策定時の状況 【平成27(2015)年度】	現在の状況 【令和元(2019)年度】	2023年度 の目標
1	肝炎ウイルス検査 <u>累積受診者数</u> 【府調べ】	約55万人	約75万人	<u>約109万人</u>
2	肝炎ウイルス検査 <u>精密検査受診率</u> 【府調べ】	44.4%	60.4%	<u>80%</u>

- ◆ 中間評価・見直し: 中間年のR2(2020)年度に実施予定であったが、
新型コロナウイルス感染症対策に重点的に取り組むため、R3(2021)年度に実施



第3期大阪府がん対策推進計画(取組内容等)

令和2年度 の取組

《肝炎肝がんの予防、医療の推進》

- 肝炎ウイルス検査の陽性者に対しフォローアップを実施し、精密検査受診状況を把握するとともに精検未受診者に受診勧奨を実施。【R2年度陽性者:18人(R3.3末時点)】
- 初回精密検査費用助成の対象拡大(妊婦健診、術前検査)。【R2年度:26人(R3.3末時点)】
- 肝がん・重度肝硬変治療促進事業にかかる指定医療機関の拡大。【92機関(R3.3末時点)】
- 肝がん・重度肝硬変治療促進事業の実施。【累計:33人(R3.3末時点)】

《肝炎ウイルス検査の受診促進》

- 市町村に対して受診者数向上にかかる情報提供等を行い、各市町村における受診者数向上に向けた取り組みを支援・促進。 ※府保健所での検査はコロナのためR2.4~休止
- 肝炎ウイルス感染の高リスク集団への働きかけ(健康コラム、健康サポート薬局と連携した啓発等)。

《肝炎肝がんに関する普及啓発の推進》

- 肝炎医療コーディネーターの養成(Web研修)。【R2年度:1,198人、累計1,569人】
- 肝炎医療コーディネーター研修の対象拡大(健康サポート薬局、患者団体)及び認定ピンバッジの作成・制度案内チラシの配布(見える化)、健康サポート薬局と連携した啓発[再掲]。
- 各関係機関にチラシの配付や広報への掲載依頼等を行い肝炎ウイルス検査の受診勧奨を実施。

今後の 取組予定

《課題》

- 肝炎医療コーディネーターの活動支援(養成促進、養成研修内容の充実)。
- 市町村及び職域との連携強化(特定市町村への働きかけ等)。
- 肝炎、肝がん患者の重症化予防の推進。

《次年度の取組》

- 肝炎医療コーディネーターを活用した受診勧奨・肝がん・重度肝硬変事業等の制度周知。
- 陽性者のフォローアップの充実を市町村に働きかけ精密検査受診率の向上に取り組む。
- 重症化予防推進事業の推進(定期検査費用助成事業の周知等)。

1

2



R2 肝炎・肝がん対策の取組内容 ①-1

【大阪府肝炎フォローアップ事業】

肝炎ウイルス検査(府委託医療機関)約3,500機関で実施

検査申込

肝炎ウイルス検査の実施

陽性

陰性

(→終了)

- 陽性者には結果通知書、紹介状及び診療結果通知書を検査実施医療機関から交付し、大阪府肝炎専門医療機関での精密検査を勧奨
- 肝炎ウイルス陽性者初回精密検査費用助成制度の案内

府から精密検査未受診者への受診勧奨

大阪府肝炎専門医療機関 指定数183機関

初回精密検査の実施・初回精密検査費用助成申請書類の交付・案内

大阪府肝炎専門医療機関
診療結果通知書を府へ送付

初回精密検査受診者
初回精密検査費用助成申請書類の提出

・初回精密検査費用助成(H30.4～)

＜助成件数＞

H30:26件 R1(H31):61件

R2:26件【当初見込:200件】

●陽性判定をした機関内訳

市町村18件、職域5件、手術前3、妊婦健診0

⇒ 制度活用を促進するために、制度周知の充実と

関係団体との連携強化が必要

・定期検査費用助成(R3.4～)

インターフェロンフリー治療受給者証交付時に**制度案内を同封**



肝炎医療コーディネーター 養成研修の 対象拡大



肝炎のご相談はお任せください！

■対象者:

肝疾患診療連携拠点病院、肝炎専門医療機関・協力医療機関、市町村、保健所、府、**健康サポート薬局【R2新規】、患者団体【R2新規】**

■日程: 令和2年11月1日～30日 <R2新規認定者: 1, 198人>

ウェブ配信により実施。確認テスト(10問)の提出により受講を確認。

■コーディネーターの配置状況 <累計認定者: 1, 569人>

行政150人、拠点病院・専門医療機関841人、協力医療機関228人、その他医療機関36人、健康サポート薬局295人(129機関)、患者団体19人

肝炎医療コーディネーター 制度の普及

制度案内チラシ



認定バッジ



制度の普及(見える化)を進めるため

- ①新たに認定バッジを作成・交付
- ②制度案内チラシを作成・配布

健康サポート薬局と連携した 肝炎ウイルス検査の受診勧奨

府がん対策推進計画

「ウイルス感染の高リスク集団を特定し、積極的な受診勧奨により、受診者数の増加を図る」
⇒ 全年齢を対象とした取り組みに加え、重点勧奨の対象(60～70歳代)を中心に普及啓発

《健康サポート薬局とは》 府内242機関(令和3年3月末時点)

薬局の基本機能に加え、医療機関での受診提案や関係機関の紹介など、健康増進を積極的に支援する機能を備えた薬局

健サポ薬局のコーディネーターから、60～70歳代の府民に窓口でティッシュを手渡し、検査の受診勧奨を実施(希望者にはお近くの検査機関を案内)



一生に一回は 肝炎ウイルス検査

血液検査で簡単にわかるわん!!

みんなの元気を応援したいわん

啓発ティッシュ

自覚症状がないからほっとしてしまいがち
でも重症化すると肝がんや肝硬変になるから怖いわん

R2 肝炎・肝がん対策の取組内容(その他)

肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業 【R3見直し】関係機関への制度周知など

大阪府

リーフレット(表紙)

肝がん・重度肝硬変の医療費は、助成が受けられます



治療3月目から入院も通院*も助成が受けられます

令和3年4月から、助成対象に「通院」が追加

B型・C型
肝炎ウイルスが原因の

次の方が対象です

肝がん・重度肝硬変で入院または通院*

B型・C型肝炎ウイルスが原因の肝がん・重度肝硬変と診断され、入院治療または通院治療を受けており、年取約370万円以下であること等が条件となります。

*通院は「分子標的薬を用いた化学療法」と「肝動注化学療法」に係る医療費が対象です。

その他、助成を受けるための条件があります。詳しくは、本パンフレットをご確認ください



©2014 大阪府もずやん

◎肝疾患診療連携拠点病院(5)、指定医療機関(92)、府医師会、各病院協会、府薬剤師会(※)、市町村、保健所等へ厚労省の周知ポスターと府のリーフレット等を送付。

※今回の見直し(通院治療)により、薬局との連携がはじまることから、府薬剤師会とWeb会議で意見交換

⇒患者への周知と医療記録票の記載等を依頼(R3年6月号会報誌に掲載予定)

ご清聴ありがとうございました。



「©2014 大阪府もずやん」